

【2010年3月14日 国際女性デー シンポジウム】

# オランブ・ドゥ・グージュと 女性の権利の展開

フランス革命期から現代のジェンダー平等問題を考える

日時 2010年3月14日[日] 14:00~17:00

場所 日仏会館 大ホール 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25 TEL.03-5421-7641  
(JR山手線：恵比寿駅東口下車徒歩10分)

主催 東北大学グローバル COE 「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」、  
共催 日仏会館フランス事務所、日仏女性研究学会(共催)

## 講演

Olivier BLANC

オリヴィエ・ブラン [フランス革命研究家・歴史家・作家]

オランブ・ドゥ・グージュ伝記Marie-Olympe de Gouges の著者



【マリ＝オランブ・ドゥ・グージュ】

## パネル・ディスカッション

オリヴィエ・ブラン

Olivier BLANC

太原 孝英 [目白大学教授]

Takahide TAHARA

高瀬 智子 [明治大学専任講師]

Tomoko TAKASE

長谷川 イザベル [上智大学名誉教授]

Isabelle HASEGAWA

岩本 美砂子 [三重大学教授、GCOE研究協力者]

Misako IWAMOTO

司会

辻村 みよ子 [東北大学教授、GCOE拠点リーダー]

Miyoko TSUJIMURA

同時通訳付・入場無料

## 趣旨

オランブ・ドゥ・グージュは、フランス革命期に世界で初めて女性の権利宣言を書いたことで有名です。現在では、女性たちの権利のための闘争やフェミニズムの先駆者として、オランブ・ドゥ・グージュの名は広く世界に知れ渡っています。2004年には、パリ第3区にオランブ・ドゥ・グージュ広場が新設され、2010年11月には、バンテオンに祀られることが期待されています。

また、最近では、オランブ・ドゥ・グージュの劇作家としての力量や、奴隷制を批判したその作品の先駆的業績が高く評価され、彼女についての研究は新たな展開を見せています。そこで、このシンポジウムでは、オランブ・ドゥ・グージュの伝記作家で著名な歴史家であるオリヴィエ・ブラン氏をフランスからお招きし、法学、文学、演劇論の観点からオランブ・ドゥ・グージュを研究する研究者を交えて、フランス革命期から現代に至る女性の権利の展開を概観し、現代フランスのパリテヤスカーフ問題など、ジェンダー平等と多文化共生の視点に立った新たな問題についても討論いたします。

【参加申し込み】お名前とご所属を明記の上、contact@mfj.gr.jp までメールでお願いします。

【お問合せ先】日仏会館フランス事務所 TEL.03-5421-7641